

（歌詞 宮原貴子（シャイニング、ラブ））

ちまたに広がらぬ甘いワナとお金にまらぬトラップ
 があふれてる、人は誰を信じていいか。迷いながらそれで
 もさびしくて街をさまよいな~~ら~~から出会いを求めてる。
 So、誰よりもよくないよ。条件理想語るけど本当に好
 きになるのは誰か分からない。人は言うよね、アイツは
 ダメだとかいいとか。だからと言って好きになっちゃイ
 ケナイなんて決めてない。決めるのは自分だから。不思議
 だね、本命には、上手い事器用にいかなくてどこか迷路。
 嫌われるの怖い？、傷つくの怖い？、だけど失敗なんて
 怖がってちゃ、むしろ前に進めないから。本気で心通わ
 せ合えたら、その手をつなげたら、ハッピーな1日が始
 まり、過去の心の化粧と、過去の過去、共に越えていけ
 たなら。出来なかった事、悪いところ、だれもがたたけは
 出るホコリ、そんな事は誰でもある。人は永遠の夢も
 なければ、苦しみばかりもない。だから~~あ~~ら2人でシャイニン
 グラブ。

(ホム)

(夜の街) (宮原貴子)

何度も繰り返す、人の過ち、その中で声無
き悲鳴を上げて、一人で苦しむ。地獄の家を
放り出して飛び込んだ夜の街、たまたまたまされ
金と欲情の果て。やがて増えてく心の傷と、
身にまとう現実。いくつもの夜を越えていつしか
体と金以外の人にはなれないとあきらめて、
渡れても夢が分からない。アイトリナンデスカ?
教えてくれるのは、言葉だけなの? 私の為に
声無き悲鳴、心のイタミ唄ってくれますか?
そして、いつもそばにいて、心を包んでくれますか?
誰を深せば、幸せになれるの? そんな街が、
ネオンをちりばめて、さびしい人を待っている。
街に来るのは、訪ねさまよう人か、昼の世界に
捨てられた人か? それとも、ウソつきか? 人は命
なのに、どこにいても命なのに、どこかで差を
つけている。あなたに値段なんかつけられなく
ないよ。本当はそう言いたかった。どこでも慣れ
てしまえばマヒした毎日、そうして生きている。

(人の胸で) (宮原 貴子)

あなたは何に怯え、誰に従わせれ、傷つけられ、苦しんだ？本当は、従う事や怖れる事で生きてこられたの ~~に~~、それすらも苦しんで、命さえ断とうと思ったときもあるだろう？

いじめ、虐待、病気、障害、人間関係いっくら上げてモリがたいくらい。でも、本当は何の為に生きてきたかったの？今、死んだらあなたの心に何か残るっていうの？この世でやってきた事が全て無くなるんだよ？何も手に入らなかったなんて言わせない。望むモノか何もなかったなんて言わせないよ。忘れているだけ。提われ過ぎているだけ。失った事も人も、かつては自分が手に入れたモノに間違いはないんでしょう？誰だって失ってる。何も言わないだけで。あなたが死んでしまったらあなたを望む人があなたを失う。本当にそれでいいの？絶対納得出来るワケないよ。だからまず、苦しむときに素直な気持ちも委ねよう。温かい人の胸で。

(ホエム)

(悩みと満足) (宮原貴子)

悩みとは、何で出来ているのか。人の数か？お金か？やっている事そのものなのか？人生の浮き沈みか？では満足とは、何でできているか？これ以上の事は望まない、同じ事の繰り返しか？人は言う守りに入れば物事は停滞し、すい退するだけだと。求めればキリがないという人もいる。何に満足したいか？一体どれだけ、分からずじまいのまま、迷っている人がいるんだろう？比べているからなのか？無いモノねだりなだけなのか？自分に欠けたモノを理める何かを深めている。本当に必要な事は心が豊かで見られる事ではないのか？何の苦勞も知らないでいる事などではない、人は生み出すモノ。色んな形で。苦しみを知り、切なさを知り、またそこから優しさ、文化、物事を生み出すモノ。だから、苦しんだまま、終わらせてはいけない。あなたかやるんだ。あなたがしてきた経験と、これからを。本当の望み、叶える為には。自分の人生を人任せにしたらいけないよ。歩いて。